

露地きゅうりの特性と作型**申し込みは 2/5 まで園芸課 23-3933**へ

☆**特性** 露地きゅうりの栽培労力は 10a 当り 883 時間と多く、うち収穫・選別・出荷で全体の約半分。収穫最盛期の 7 月上旬～8 月下旬が最も労力が必要。
きゅうりの作柄はその年の気象条件に大きく左右される。防風対策や水管理、土づくりがポイントとなる。

☆**作 型** ○：定植 △小トンネル ●：収穫期

	5			6			7			8			9			10		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
春きゅうり	○△	—	△		●											●		
夏秋きゅうり			○		●											●		



春きゅうり小トンネル



つなぎパイプを利用し、合掌下 2.5m



畦幅を広げても収量は変わりなし

☆**品 種** 大望 1（ときわ種苗）+台木「ぞっこん」
 ☆**栽植密度** 畦幅 3.4m×株間 120 cm 10a 当たり 490 本
 ☆**目標収入** 収量 12,000kg×240 円/kg=2,880,000 円

☆**過去実績（加工除く）**

2 年度平均収量 8.6t、	最高 18t、2 年単価 322 円/Kg
元年度平均収量 10.5t、	最高 22t、元年単価 241 円
30 年度平均収量 9.7t、	最高 22t、30 年単価 281 円
29 年度平均収量 9.6t、	最高 20t、29 年単価 239 円
28 年度平均収量 10.3t、	最高 18t、28 年単価 240 円
27 年度平均収量 11.7t、	最高 25t、27 年単価 249 円

☆**労 力** 一人当たり 3～5a

☆**メリット**

- ・収益性の高い品目で、特に春きゅうりは収量性が高い。
- ・中野市は、きゅうりに適した産地でここ数年価格が安定している。
- ・荷造りの労力軽減策として、業務用無選別きゅうりの取り組みが可能です。
- ・中野市(JA)は特定地域に指定されており、JA 出荷のきゅうりは価格が下がった場合は生産安定交付金が支給されます。
- ・園芸特別対策事業による新規アーチパイプ設置助成及び園地整備、排水対策暗きょ等の設置助成を予定しています。詳しくは担当技術員までお問合せ下さい。